

ウクライナ緊急支援プロジェクト 支援金へご協力をお願い

■ ウクライナからの避難民を受け入れるポーランドと福田会のつながり、 OAGの取り組みについて

1918年、第一次世界大戦の終戦の年、ポーランドがロシア、ドイツ、オーストリアから独立します。123年ぶりのことです。その時シベリアには20万人ほどのポーランド人が生活していたようです。独立運動は当然のことながら多くの孤児を生み出しました。1920年ポーランド人のアンナ・ビエルキエヴィチ (Anna Bielkiewicz) さんがシベリア孤児救済事業を立ち上げ、せめて子供たちだけでも救って欲しいと来日されました。当時の外務省は人道支援の見地から、日本赤十字、日本陸軍の協力のもと、この救済事業の支援に乗り出したのです。1920年から1922年に渡り、第一次、第二次救済事業で延べ765名の子供たちをシベリア各地から救済し、日本に連れてきました。第一次救済事業の際、東京の宿舎(療養所も兼ねていたと思われます)が福田会でした。福田会には375名の子供たちが1週間から最長4か月間生活し、本国に無事帰すことができたのです。

実は、この日本国最初の人道支援については、福田会の職員全員が知らず、この事実を教えてくれたのは2011年頃、当時の駐日ポーランド大使ヤドヴィガ・ロドヴィッチ大使が福田会を訪れて下さり、「この福田会は、あの福田会ですか?…」「あの福田会とは何ですか?…」我々は初めてその事実を知るのです。そして我々の使命は100年前の日本国の人道支援を、今後100年間つなぐことだと思い立ち、福田会ポーランド支部(運営はASAGAO(株)に委託)を立ち上げて現在に至っています。

その福田会ポーランド支部が活動を委託しているASAGAO(株)が、ポーランドに逃れて来たウクライナ人支援に乗り出すのを見るにつけ、福田会ポーランド支部の活動として支援活動を行い、その資金集めをOAGが支援するに至った経緯であります。

今、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、そのポーランドが最大の避難民受け入れ国となっており、全国民が一致団結して様々なウクライナ支援活動を行っています。そのポーランドを支援する事(同じ戦争被害者です)は福田会の必然だと感じました。そしてOAGは福田会のウクライナ支援活動をバックアップする事を思い立ち、皆様方にこうしてお願いする次第であります。

ご協力くださった皆様からの支援金は、全額ウクライナ支援のために利用されることをお約束致します。コロナ禍でご苦勞の多い中で、このようなお願いになりましたことをお許しいただくとともに、ご無理のない範囲でのご協力をお願い申し上げます。

■ ポーランドに避難してくる方々のため、 温かいご支援をお願いいたします

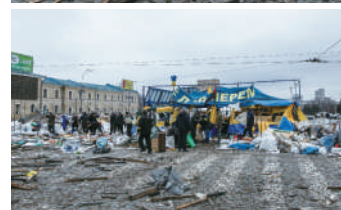
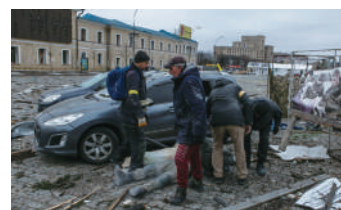
2022年2月24日(木)より始まったロシアのウクライナ侵攻により、現時点で200万人を超える人々が国境を渡り、ポーランドへと避難してきています。ポーランドでは行政の他、企業や個人による民間のボランティアを総動員し、これらの避難民への対応を行っています。避難所では、食料品、衛生用品、温かい衣類といった生活必需品の枯渇が始まっており、避難時も、避難した後も、生活のできる環境を整えるため、継続的な支援が必要な状態です。このような状況下で、必要な活動を日本で考え、物資を日本で集めてポーランドに輸送するのは現実的ではありません。そこで、ポーランドとの繋がりの強さを活かし、ポーランド現地で判断し、都度必要な物資を調達し配付する、現金を直接渡す、買い物券を渡すなど、現地の実情に合わせ、機動的に支援する方法で支援する事としました。上記の事情をご拝察いただき、ご寄附をお願いする次第です。



OAGグループ代表
社会福祉法人 福田会 理事長
太田 孝昭



当時の福田会の敷地内で撮影した孤児たちの写真
現在もこの写真と同じ場所に福田会があります



現地の様子(3月1日、ハリコフにて撮影)



ウクライナ緊急支援プロジェクト 概要

01.実施方法

クラブに拠点を置く社会福祉法人福田会ポーランド支部（運営はASAGAO代表：吉田祐美）が**直接**に支援を行い、かつ**確認**する事とします。ご寄附いただいた金額については**全額寄附**いたします。
寄附の為の業務経費（交通費、人件費等）は、OAGで負担させていただく事としました。

社会福祉法人福田会 ポーランド支部について

ポーランド孤児の史実のポーランド国内での周知等の為、福田会は、2019年よりASAGAO有限会社（代表：吉田祐美）と業務委託契約を締結し、社会福祉法人福田会ポーランド支部として現地での活動を行っていただいております。2020年にはポーランド孤児来日・帰国100周年記念式典をワルシャワにて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で現在まで延期となっております。この式典の開催に向けてのポーランド大統領府や首相府、その他の関係者との交渉や連絡も全てASAGAOが担っています。このASAGAOに、福田会が行うウクライナ支援事業活動は福田会ポーランド支部として活動してもらうべく新たに業務委託契約を締結致しました。

社会福祉法人
福田会HP



ASAGAO有限会社に
運営委託している
シベリア孤児に関するHP



02.支援プロジェクト活動の報告方法

福田会ポーランド支部の活動状況は、SNS、福田会後援会のホームページ（<http://fukudenkai.org/>）等で公開します。
6月末までの活動で一旦締めさせていただきます、決算報告いたします。

福田会後援会HP



ASAGAO(株)が
独自で展開している
支援活動HP



03.プロジェクト期間 2022年3月6日から6月8日（現地の状況によっては延長の可能性あり）

04.ご寄附の方法

別紙、寄附申込書に必要事項をご記入いただき、メール、郵便またはFaxにて福田会までご送付ください。（PDF、写真でのメール送信も可能）

送
付
先

E-mail: koho@fukudenkai.or.jp (担当: 我妻)
F A X: 03-3407-0478
郵 送: 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-12
社会福祉法人 福田会 担当: 我妻 宛

05.ご寄附 受付先

今回のウクライナ避難民への緊急支援にあたり、専用口座を開設しております。右記口座まで、ご入金をお願い致します。

金融機関名：さわやか信用金庫 支店名：広尾白金支店
口座番号：1177223
名 義：社会福祉法人 福田会（ふくでんかい）ウクライナ支援寄附口座
理事長 太田 孝昭（おた たかあき）

06.ご寄附の税制優遇について

社会福祉法人福田会は特定公益増進法人のため、ご寄附は税制優遇を受けることができます。個人の方からのご寄附は、特定寄附金として①寄附金控除（所得控除）と②寄附金特別控除（税額控除）のどちらか有利な方を選択することが可能です。法人様からのご寄附は、特定公益増進法人に対する寄附金として損金算入を計算することが可能です。ご寄附を頂きました皆様には後日領収書を発行いたしますので、必要な手続にご活用ください（10月頃発送予定）。詳しくは住所地の自治体や所轄税務署、OAGを含む専門家等への確認をお願いいたします。



当社オウンドメディア
「アセットキャンパスOAG」
でも情報を掲載

ウクライナ支援プロジェクトに関するお問い合わせ先

福田会 (担当: 我妻)

E-mail: koho@fukudenkai.or.jp

T E L: 03-5466-0459 / 080-9093-8472

OAGグループ (担当: 石鍋)

E-mail: ukraina-support@oag-tax.co.jp

